

2011年8月16日

**電通マクガリー・ボウエン、東日本大震災義捐金募集のために
「折り鶴のKIZUNA」プロジェクトを開始**

米国・ニューヨークに本社を持つ電通マクガリー・ボウエンは、本年3月11日に起きた東日本大震災の復興支援を目的とした義捐金募集サイト「折り鶴のKIZUNA」（英語名称は “KIZUNA CRANES”）の運営を8月15日（現地時間）より開始いたしました。

同プロジェクトは、「折り鶴を千羽折ると、特別な願いが叶う」という日本の有名な言い伝えにヒントを得て、今回の震災の被災者に対する電通マクガリー・ボウエン社員の気持ちを表現したものです。希望と回復を象徴する「折り鶴」と、愛、友情、そして互いへの思いやりや結束を表す言葉「絆」を合わせてプロジェクト名としています。募金活動の促進を事業の柱とする世界的非営利団体グローバル・ギビングと協働で行うこのプロジェクトの最終ゴールは、震災から1年後となる2012年3月11日までに、東日本大震災・津波復興基金として10万ドルを集めることです。

電通マクガリー・ボウエンのチーフ・デジタル・オフィサーであるジョン・マクガリー3世は、「震災からおよそ5ヵ月経過したこれからこそ、被災者の方々への継続的な支援が必要とされています。我々が得意とするテクノロジーとデザインを活用し、長期的支援の活性化を実現させる方法を見つけだすことが、我々にとって非常に重要なことでした」と語っています。

今回のプロジェクトでは、電通マクガリー・ボウエンのニューヨーク本社と電通東京本社のアート・ディレクターたちが、2つの都市にヒントを得たデザインを、30種類の鶴に具現化しました。ユーザーが鶴のデザインを選択し、寄付を行うと、パーソナル・メッセージが添えられた鶴がユーザー間を旅して行きます。その軌跡は、グーグルマップ上で追跡していくことができます。それぞれの折り鶴が人から人へと地球上を旅する毎に、日本の被災者との連帯の象徴となる、人と人との絆のストーリーが出来上がって行きます。「折り鶴のKIZUNA」のサイト (<https://kizunacranes.com/>) 他、FacebookやTwitterでも最新の状況を把握できます。

■電通マクガリー・ボウエン (www.mcgarrybowen.com) について

電通マクガリー・ボウエン社は、アド・エージ誌による、2009年「エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。2010年には、その第2位に選出。また、2007年、2008年には、アントレプレナー誌による「急成長企業トップランキング」リストにも選出されました。統合型キャン

ペーン開発、デジタル、ダイレクト、セールス・プロモーション、ネーミング、ブランド・アイデンティティ開発、メディアプランニング、メディアバイイング、広告業一般を事業領域とする総合広告代理店で、ニューヨークを本社とし、シカゴに支社があります。

■**グローバル・ギビング (www.globalgiving.org)について**

世界銀行の元エグゼクティブ2名が創業したグローバル・ギビングは、個人、法人、その他の団体が、世界中からプロジェクトを見つけ、寄付できる、効率性の高い慈善事業市場の構築をミッションとしています。ワシントンD.Cを拠点とし、世界60カ国で、常時300もの草の根レベルのプロジェクトを提供しています。プロジェクトのテーマも、教育や経済発展から、健康、環境に至るまで広範囲に及びます。主要なファンディング・パートナーは、Skoll Foundation、Omidyar Network、the Hewlett Foundation、USAID、the Sall Family Foundationです。